

波紋

1992 12 第90号

森松対三河屋 ボーリング大会 & 交流会

10月20日に、三河屋さんと交友を深めるということで、ボーリング大会を行いました。初めのうちは、何から語りかけようかと私も相手側も緊張してしまっていて固い言葉使いの敬語でしたが、ストライクが出たらお互いに話し、会社の様子など色々と話し始めました。



交流会では、緊張もほぐれカラオケでデュエットしたり、食事をしながら会話して楽しみました。短い時間でしたが交友を深める事ができ楽しい思い出が出来ました。

●交差点

「価値感の違い」

アメリカの次期大統領にクリントン氏が決まった。昭和21年（一九四六年）生まれで、私と同年代です。46歳。アメリカ国民はすばらしい選択をしたものである。日本の政界ではおおよそ考えられない選挙に思う。

実力があれば、若くても大統領になれる「騎馬民族社会（アメリカ）」に対して、共同作業が主体の「農耕型社会（日本）」では、年の功を積んだまとめ役が必要とされている、という違いかな、と考えさせられます。ますます国民性の違いという問題に興味が増してきました。

国民性の差がある事は理解できませんが、会社の中で社員同志の間では、同じ価値感を持ちたいものです。価値感の違いは、仕事の優先順位も違ってきますし、せっかく報・連・相しても、正しく相手に自分の気持ちが伝わります。その結果、意志の疎通に困難を生じます。

価値感の違いは、国民性の違い以上に大変な問題だと思います。どうしたら全社員が同じ価値感になれるか、皆さんと一緒に考えて参りたいと思います。

森 信之

——12月12日に皆様と会える事を楽しみにしています。（モーリン忘年会）——

トシ君の一方通行 「上の文化祭」

金丸君が学級委員を急に辞めました。聞くところによれば、文化祭に使うお金を佐川という運送会社のオジサンに寄付をもらい、それを勝手に好きな仲間に配って、文化祭を牛耳るつもりであったという事です。それで、「オラ辞める」後は知らんもんね」と言っ辞めたのはいいんだけど、一番可愛がっていた小沢君が人がなくて、小瀬君が委員長に選ばれた訳ですが、それで小沢君は怒ってしまい、おとなしかった羽田君を委員長にしなきゃ「オラ怒るぞ!!」と仲間を集めてフテクサレています。元級長の竹下君が頼りとは皆思っておりませんから、3年2組は大騒ぎです。3年1組の優等生の宮沢君や、3組の三塚君、4組の小学生なのに魚屋のオッサンみたいな渡辺君、それとすっかり忘れられた様な河本君だっけ……。皆興味を持っています、それぞれ疑心暗鬼の様でまるで小学生とは思えない性格と考え方です。この学級は本来世のため、人のため、というのが校風であったのに、そっちのけです。第一皆のための文化祭は一体どうなるのでしょうか？

木村 英利

森松クインテット 「環境破壊」

社会環境の変化に伴い、物の価値感も変化します。それでは人の価値感というものを考えた場合はどうでしょうか。社会環境の変化についていけない人はだめだ、と決めつけてしまうのは、ちよつと無理があると思います。それだけで人の価値が決められる程、人間は簡単に出来ていないと思います。例えば、

- 四国八十八ヶ所巡りを歩いてまわる事、に価値を感じる人と感じない人。
- 前日から煮込んだ自家製のカレーを家族と楽しむ事、に価値を感じる人と感じない人。
- 年賀状をすべて自筆で書く事、に価値を感じる人と感じない人。

たしかに世の中が便利になっている分だけ無駄な努力と言われる事も多くなっているかもしれませんが、でもそれを無駄と決めるのは他人ではなく本人ではないでしょうか。他人の無駄な努力を否定したがる人は多分、自分の価値を見出す事が出来てないのでしょう。そんな『他人の努力否定人間』が、ふえてしまつて『人間の心の環境破壊』が進んでいます。お金では絶対に入らない物に、本当の価値を感じる事が、本来の人間の姿ではないのでしょうか。他人の努力を見て、酸性雨をばらまいている人は、早めにオレフィンの勉強をして、自分の努力を楽しむ様になりましよう。

牧野 光昌

喜怒 哀 楽 「有意義な時間」

今年になってからバブル経済がはじけ、大抵の企業で時間が余り、日本中で不景気、不景気と、どこへ行っても誰と話しても皆、そのような話が出てきます。

先日、久しぶりに中学時代の友人に会い、中学時代の話や今の仕事の話等、いろいろな話題で盛り上がりました。そこでもやはり不景気の話になり、会社も暇で残業も少なく、給料も残業手当が減った分少なくなつたそうです。そのため帰宅時間も早くなり、休日も増えた分、自宅で過ごす時間が長くなり、そのあいた時間をどう有意義に使うのか？考えている、ということ。私の場合も数年前はなかなか早く帰ることが出来ず、たまに早く帰れたときは、あれをしよう、これをしようとして色々考えていたのです。しかし、今現在毎日ほぼ定時で帰れるようになり、その後のあいた時間を有意義に使えているか？となると、全然使えていないな、と実感しているところです。

新しい趣味を作るとか、何か自分のためになる勉強をする等、この不景気な時期で余つた時間を無駄なく使い、有意義なトキを過ごしていきたいと思えます。

鳥羽 幸治

結婚おめでとう！陽子さん

前略

陽子さん御結婚おめでとうございます。

本日は披露宴にお招きいただきありがとうございます。ございました。

貴女の晴姿を見せていただき、また御来賓の方の陽子さんをほめられる言葉を聞き、立派に成長された事を母親のような気持ちになり誇らしく思いました。

今日は朝早くから大変でした。今時の若い人達は少しでも楽な方を選び、花嫁のお支度も式場で済ませるケースが多いのに、貴女は体の弱って来たお祖母ちゃんに花嫁姿を見てもらいたく家で支度をし、近所の方々にも充分祝ってもらえましたね。お祖母様もうれしそうに振舞っていられたましたよ。

家族の方々

の気遣いはもちろんですが、貴女もどれほど気を使われた事か、でも披露宴の最後まで疲れた顔も見せずにいつもの笑顔で送り出して下さったわね。ありがとう。



平成四年十一月十五日

円道 陽子様

伊藤 孝子

かしこ

これからは章さんとうんと甘えて、何んでも相談し助け合って気を張らず早く二人だけの生活を築いて下さい。

今日の幸せな笑顔をいつまでも忘れずに。

最後の野球大会

今年最後の野球の試合が、十月二十七日に行われました。安井チームと伊東チームに別れての紅白戦は、凄まじい打撃戦(う)の末、安井チームが7対5で勝利を収めました。

光田部長の球を安井課長が(実力で)打てないという訳で、一緒のチームになりバッテリーを組んだという、面白いチーム分けの秘話もありました。とても楽しい一時でした。

また、野球シーズンが終わりましても、今度はスキーシーズンがやってきます。皆さん大いに滑りに参りましょう。

暮らしのエッセイ

「大切なもの、ものの価値」

今環境問題が話題となり、四方八方でリサイクル、リサイクルと言われているが、そのリサイクルされたものを一体どのように考え、処置しているのだろうか。

リサイクルをとってみるが、一つのものに対して評価をすれば、色々批判されるし、良いと言う人がいれば、逆に悪いと言う人もいます。そのような範囲からものの価値感を問うより、今考えなければならぬものは、それを有効に、有意義に利用する方法を考えるのを、リサイクルする前に問うてはどうか？



西垣 浩 司

今回の改善提案賞は「該当者なし」。改善の量も質も減ってきています。改善は毎日同じ行動をしていてはダメです。一日の行動の中で、無駄な行動をどのようにしたら省けるか、いつも考えながら仕事することによって改善がもたらされる。

来月は質・量共により充実した「改善」を期待します。

12月の社内行事

1日(火)	坂口さん誕生日
2日(水)	円道主任誕生日 (旧姓・水野)
4日(金)	加藤先生来社
5日(土)	第一土曜日休み
7日(月)	編集会議 十八時より
8日(火)	明和クラブア展示会
9日(水)	素麺会 十七時より
11日(金)	豊作会 十八時より
12日(土)	家族忘年会 十二時より
13日(日)	橋本さん誕生日
15日(火)	改善委員会 十八時より
16日(水)	加藤(公)さん誕生日
18日(金)	製造部忘年会
19日(土)	営業部忘年会
"	第三土曜日休み
21日(月)	生産会議 十八時より
23日(水)	天皇誕生日
24日(木)	経営会議 十四時より 営業会議 十七時より
"	太田(佐)さん誕生日
25日(金)	蓮根会 十八時より
26日(土)	鳥羽主任誕生日
28日(月)	仕事納め

1993年Calendar (1月~6月)

全 部 門

- 製造
- 営業
- 経理
- 配送
- 荷受
- 休日

1月[January]

日	月	火	水	木	金	土
●	●	●	●	●	①	②
③	④	5	6	7	8	⑨
⑩	11	12	13	14	⑮	⑯
⑰	18	19	20	21	22	23
⑳	24	25	26	27	28	29
⑳	31	●	●	●	●	●

2月[February]

日	月	火	水	木	金	土
●	1	2	3	4	5	⑥
⑦	8	9	10	⑪	12	⑬
⑭	15	16	17	18	19	⑳
㉑	22	23	24	25	26	27
㉒	●	●	●	●	●	●

3月[March]

日	月	水	木	金	土
●	1	2	3	4	5
⑦	8	9	10	11	12
⑭	15	16	17	18	19
㉑	22	23	24	25	26
㉒	29	30	31	●	●

4月[April]

日	月	火	水	木	金	土
●	●	●	●	1	2	③
④	5	6	7	8	9	⑩
⑪	12	13	14	15	16	17
⑱	19	20	21	22	23	24
㉕	26	27	28	㉒	⑳	●

5月[May]

日	月	火	水	木	金	土
●	●	●	●	●	●	①
②	③	④	⑤	6	7	⑧
⑨	10	11	12	13	14	⑮
⑱	17	18	19	20	21	22
㉓	24	25	26	27	28	29
㉔	31	●	●	●	●	●

6月[June]

日	月	火	水	木	金	土
●	●	1	2	3	④	⑤
⑥	7	8	9	10	11	⑫
⑬	14	15	16	17	18	⑲
㉑	21	22	23	24	25	26
㉗	28	29	30	●	●	●

編集発行者
森松株式会社

発行責任者
谷 澤 享

平成4年12月1日
第90号



カレンダーの、残りも少なくなり、慌ただしく一日が過ぎて行きます。
来年は、私にとって人生の節目にもなる年を迎えます。その為、人間的に成長しなくてはならないのに、一日一日の早さに驚ろいています。
皆さんも、今から一年の計画をたて、有意義な一年を過ごせるようがんばりましょう
大和田 夕美

編
集
後
記